

ステークホルダーの皆さまへ

■ ステークホルダーの皆さまへ

ステークホルダーの皆さまへ

データ社会を支える テクノロジーの 弛まぬ進化



取締役会長
常石 哲男



代表取締役社長・CEO
河合 利樹

株主、投資家の皆さま、ならびに東京エレクトロンのすべてのステークホルダーの皆さま、平素より格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

2019年の半導体前工程製造装置市場は、メモリ向け投資が一時的な調整局面を迎えたことを受け、前年比で減少したものの、ロジック/ファウンドリ向け投資に下支えされ、500

億米ドルを超える水準となりました。FPD製造装置市場についても前年比で減少となりましたが、年後半から投資が回復基調に転じました。このような市場環境のもと、期末には新型コロナウイルス感染症による当事業への影響が懸念されましたが、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益について業績予想を上回る結果となりました。

IoT、AI、5Gの普及に加えて、新型コロナウイルスの影響によりテレワーク、オンライン授業、遠隔診療などの利用が進み、データ社会への移行が加速しています。データ社会を支えるインフラとして半導体およびディスプレイの重要性は増しており、製造装置市場のさらなる拡大が見込まれます。当社は、革新的かつ多様な技術を融合し、Best Products、

Best Serviceを提供することで、企業価値の向上を図るとともに夢のある社会の発展に貢献してまいります。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。